

科目名	現代社会と福祉Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	古 川 孝 順						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	現代社会に生きる人びとは大きな経済的変動や社会的変動、人口構造や家族構造の変化、高齢、障害、幼弱、傷病等の要因によって生活上に様々な問題を抱えており、それにたいする社会的な施策が講じられている。福祉施策はそのような施策のうち、雇用、所得、支援ニーズ、住宅などに関わって提供されている施策を総称するというが、ここではそのような施策にみられる理念、体系、援助の方法などについて理解を深めることをねらいとする。						
授 業 の 到 達 目 標	1)現代社会の特徴について理解することができる。2)福祉施策の動向を現代社会の動向と結びつけて理解することができる。3)福祉施策の体系について系統的に理解することができる。4)福祉施策の個別の内容について理解することができる。5)以上の理解を前提に、福祉施策のあり方について自分自身の見解をもつことができる。						
学習方法	講義とディスカッションによって進める						
テキスト及び参考書等	社会福祉士養成講座編集委員会『現代社会と福祉（第3版）』中央法規、2012年						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	◎				40	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎				20	
授業態度				○		10	
受講者の発表		◎			○	20	
授業への参加度				◎		10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	イントロダクション：視点と枠組み						
第 2 週	社会政策の理念・主体・手法						
第 3 週	〃						
第 4 週	福祉と福祉政策						
第 5 週	〃						
第 6 週	福祉政策の関連領域						
第 7 週	〃						
第 8 週	社会福祉制度の体系						
第 9 週	〃						
第 10 週	福祉サービスの提供						
第 11 週	〃						
第 12 週	福祉サービスの援助活動						
第 13 週	〃						
第 14 週	福祉政策の国際比較						
第 15 週	〃						
第 16 週	まとめ：福祉政策の課題と展望						
備 考	事前・事後学習を行うこと。						